

授業科目名 (科目の英文名)					旧授業科目名
政治経済学 II (Political Economy II)					政治経済学 II
必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	2	2,3	後期	月 3	江原 慶 E-mail keiehara@oita-u.ac.jp 内線 7681
授業の概要	<p>「政治経済学 I」および「政治経済学 II」では、「初級政治経済学」で学んだ「資本主義」の基礎理論について、より深く考察します。後期の「政治経済学 II」では、まず、労働という人間の活動の特徴を分析します。続いてそれを踏まえ、生産という概念についてより詳しく学びます。特に、社会的再生産という捉え方と、労働市場の構造に立ち入って考察します。その後、それまでの生産についての理解を前提に、それを処理する市場のしくみについて、価格機構に焦点を当てて考えます。</p>				
具体的な到達目標					
目標 1	労働という人間活動の特徴を理解できるようになる。				
目標 2	社会全体における生産過程を構造的に捉える方法を身につける。				
目標 3	労働市場のしくみを説明できるようになる。				
目標 4	資本主義の市場における価格決定問題を解けるようになる。				
目標 5					
授業の内容					
1	はじめに				
2	労働過程				
3	労働組織(1)：協業				
4	労働組織(2)：分業				
5	労働組織(3)：マニュファクチュアと機械制大工業				
6	小括				
7	生産過程				
8	階級関係と労働量の本源的独立性				
9	搾取の理論(1)：総労働時間の延長				
10	搾取の理論(2)：労働生産性の上昇				
11	労働市場(1)：産業予備軍がいる労働市場				
12	労働市場(2)：労働市場の同質性				
13	費用価格と利潤				
14	生産価格				
15	まとめ				
アクティブ ラーニング	受講者には、moodle にて講義に対するコメントを求めます。そこでの学生の意見や質問を講義にとりいれ、逐次要望にお応えします。				その他の 授業の工夫
時間外学 修の内容 と時間 目安	準備学修	教科書をあらかじめ読んでわからない点をチェックしておく。			
	事後学修	授業で習った内容の確認をおこなう。moodle にてコメントを記入する。			
教科書	『これからの経済原論』（さくら原論研究会編、ぱる出版、2019年9月刊行予定）				
参考書	『経済原論』（小橋昭著、東大出版会、2009年）。詳しくは授業時に指示します。				
評方成 価法績 割及評 合ひ価 の	評価方法				割合
	平常点				30
	期末試験				70
注意事項	「政治経済学 I」の内容を理解していることが前提の講義です。				
備考	各回の講義内容が互に関連しているため、欠席する場合は、講義資料や教科書・参考書等で該当箇所を補ってください。				
リンク	URL				
担当教員の実務経験の有無					
教員の実務経験					
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無					
教員以外の指導に関わる実務経験者					
実務経験を いかした教育内容					